

Bio-mc:365

APAB のご紹介と今後についてのご報告

日本機械学会バイオエンジニアリング部門ML各位

Asian-Pacific Association for Biomechanics (APAB) の President
でした名大の松本健郎です。

APAB は東北大の山口隆美先生(当時)を中心に, アジア太平洋地域の
バイオメカニクス発展とバイオメカニクス分野の研究者同士の交流を
促進する目的で 2005 年に結成された団体です:

<https://jpn01.safelinks.protection.outlook.com/?url=https%3A%2F%2Fwww.jsme.or.jp%2Fbio%2Fapbiomech%2F&data=05%7C01%7Csakota.ao%40aist.go.jp%7C13f7ace3ddf94342e0fb08da3a26d5c2%7C18a7fec8652f409b8369272d9ce80620%7C0%7C0%7C637886235701365853%7CUnknown%7CTWFpbGZsb3d8eyJWIjoiMC4wLjAwMDAiLCJQIjoiV2luMzliLlCjB1IHR5cGU6IjEkaWw%7CJXVCI6Mn0%3D%7C3000%7C%7C%7C&am;odata=m82up%2F3tl3ngOOBQEHLAm1kCSprW9I5BI%2B0b9fLtUHE%3D&reserved=0>

アジア太平洋地域のバイオメカニクス関係の学協会の集まり(Society of society)という形を取っており, 現在, 11 の国と地域が加盟し,
日本からは本 BE 部門が代表として参加しております。

現在は,

- ・アジア太平洋バイオメカニクス会議 (AP Biomech) の開催地決定
- ・若手研究者を顕彰する Yamaguchi Medal の受賞者決定

を主な任務としており, 年に1回, Council meeting を開催しております。

これまでは設立当時の山口先生の人脈で集まったメンバーによる, いわば阿吽の呼吸の運営がされてきましたが, 昨年, By-Laws が設定され, 規則に基づいた運営が開始されました。

そこで, 2021 年3月に Council メンバーの選挙が行われ, 日本からは

- ・安達 泰治(京 大)・・・Society Member(各国が代表を1名推薦し無投票で決まる)

・石川 卓司(東北大)・・・Member-at-Large(総数が Society Member 数を超えないよう投票で選ばれる)

・大橋 俊朗(北 大)・・・同上

・和田 成生(阪 大)・・・同上

の先生方+松本(Immediate Past Presidentとして自動的に選ばれる)の5名が就任することになりました。

そして新メンバー20名で執行部(President, Secretary, Treasurer)選挙が行われ、

President・・・シンガポール国立大学の James GOH

Secretary・・・台湾国立陽明交通大学の Bing-Shiang YANG

Treasurer・・・東北大学の石川 拓司

の各先生が選ばれました。

今後4年間はこの Council メンバー & 執行部で運営される予定です。

AP Biomech 2021 の Incoming President Talk を聞かれた方はよくご存じと思いますが、James は APAB のプレゼンスを上げるために様々なアイデアを持っているようで、これから APAB が益々発展することが期待されます。

それでは、これからも APAB へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

なお、次回の AP Biomech は、2023 年 11 月 16～19 日にクアラ・ルンプールで開催予定です。

松本健郎